

# キャリアデザインC 専門プロジェクト

## チーム1: 中門の整備担当班

### 1, 電気通信大学の中門について

- 大学の東地区と西地区を結ぶ短い横断歩道  
地方道12号線を挟んで位置している



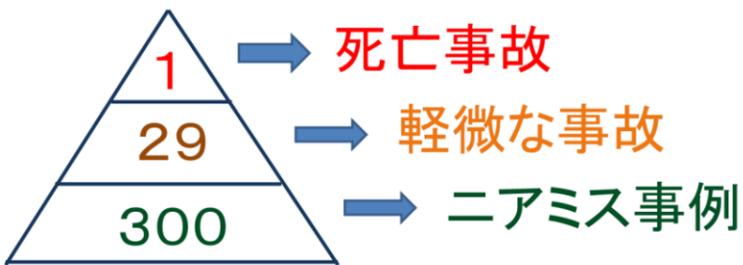
### 2, 中門の整備: 目標

学生・教職員・一般市民の安全な通行の実現

⇒ 人命の損失を防止

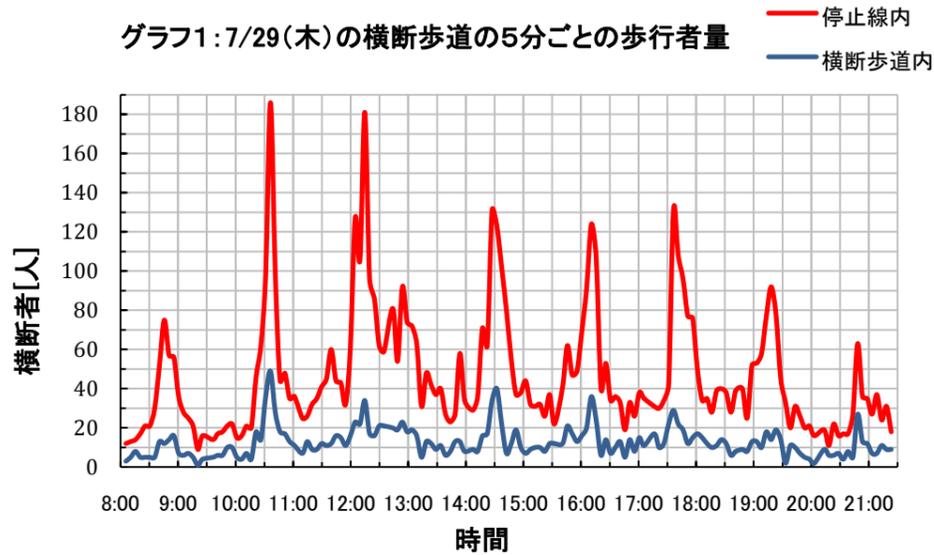
- 大きな事故を防ぐために小さな事故を防止する

ハインリッヒの法則

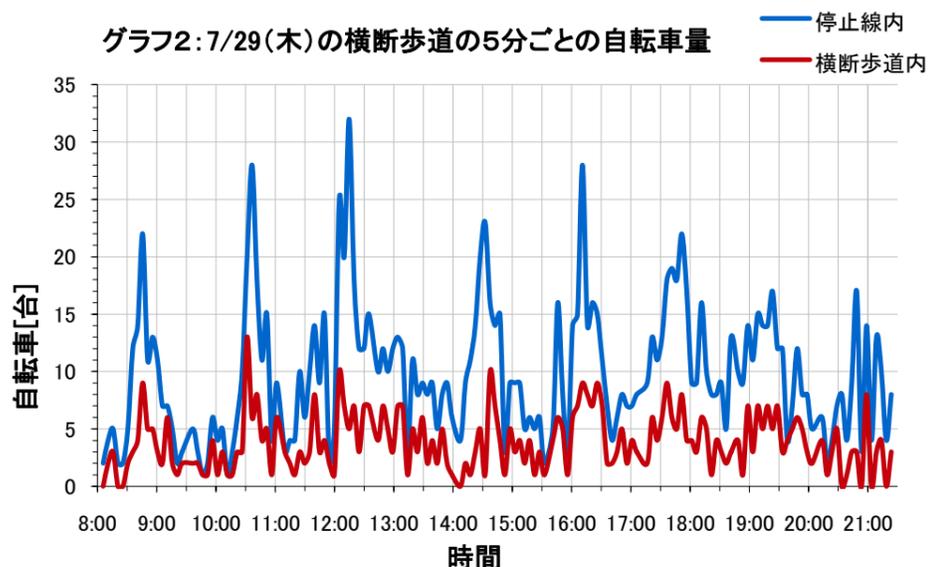


### 3, 交通データ

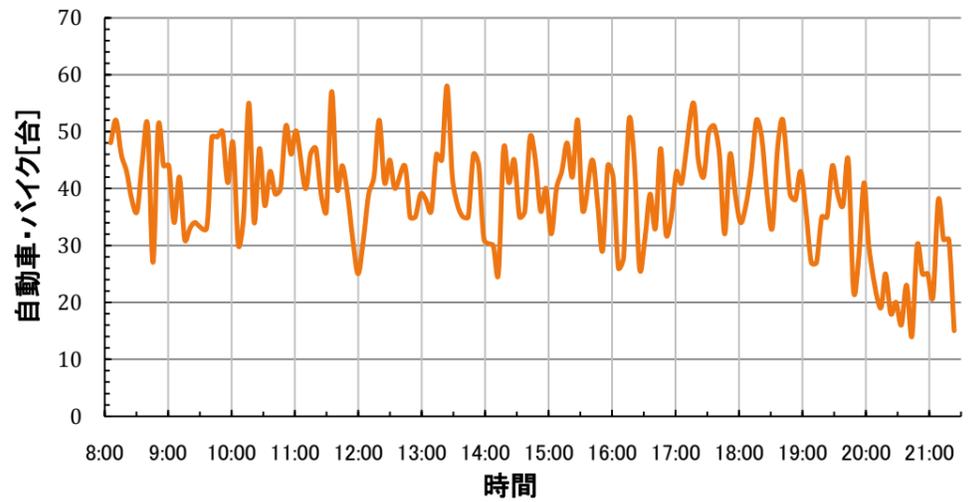
グラフ1: 7/29(木)の横断歩道の5分ごとの歩行者量



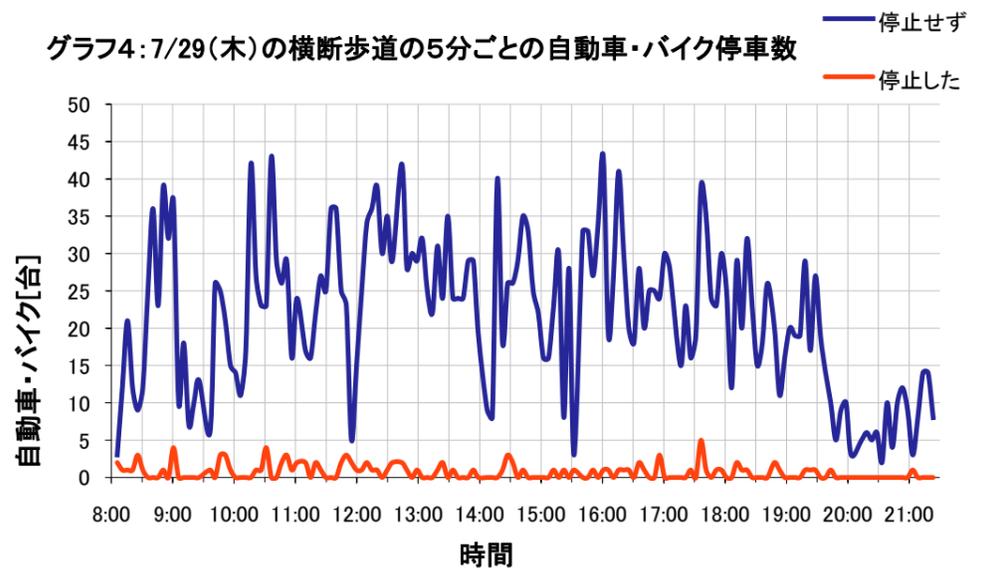
グラフ2: 7/29(木)の横断歩道の5分ごとの自転車量



グラフ3: 7/29(木)の横断歩道の5分ごとの自動車・バイク通行量



グラフ4: 7/29(木)の横断歩道の5分ごとの自動車・バイク停車数



グラフ1から、歩行者について以下のことがわかる

- ・最大値: 5分間で186人
- ・横断歩道の歩行者: 約27%
- ⇒ 歩行者は特に休み時間中に多いが、横断歩道を渡っていない
- 原因: 横断歩道の位置が南方向にズレている



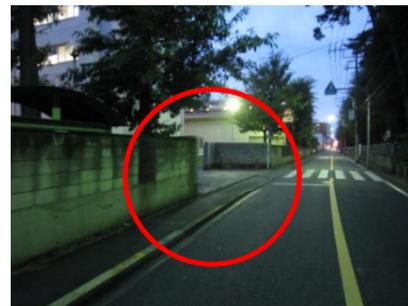
グラフ2から、自転車の通行について以下のことがわかる

- ・最大値: 5分間で32台
- ・横断歩道の自転車: 約39%
- ⇒ 自転車のほうが歩行者より横断歩道を渡っている
- 原因: 車道と歩道との段差が横断歩道の部分だけ小さい



グラフ3とグラフ4から、自動車とバイクについて以下のことがわかる

- ・最大値: 5分間で43台 (時間帯や歩行者・自転車の有無はほぼ関係なし)
- ・ドライバーが歩行者を無視する割合: 約97%
- 原因: 中門周辺の視界不良



## 4, 中門整備:ポイント

1. 横断歩道は地方道12号線にある  
(道路管理者:調布市、交通管理者:調布警察)
2. 横断歩道は狭いが、横断者は多い
3. 歩行者と自転車は休み時間に激増する
4. 横断歩道は位置が南にズレている
5. 車道と歩道の段差(違法駐輪防止対策)が自転車の通行を阻害
6. 自動車とバイクは甲州街道により通行多め
7. 中門周辺の視界が悪く、  
ドライバーは歩行者が見えにくい
8. 直前に歩行者を見て停止するより、  
走り抜けるほうが安全

## 5, 中門整備:解決策(一部)

### 1, 信号機の設置(交通管理者が管轄)

・歩行者と自動車を分けて安全な通行を実現



・現在、調布警察署へ申請済みであり、年度末の警視庁信号機計画課の判断により設置の可否が決まる

### 2, 横断歩道のズレ修正(拡幅)&自転車横断帯の設置

・歩行者と自転車を分けて接触事故を防ぐ



・こちらも調布警察署へ申請済みであり、年度末の警視庁交通規制課の判断により実施の設置の可否が決まる

### 3, 路面のカラー化(道路管理者が管轄)

・ドライバーに横断歩道への注意を喚起させる



・東京都建設局北多摩南部建設事務所へ連絡し、申請があれば設置可能であるのと回答を得られた

## 4, 中門周辺の歩道の拡幅と障害物の移動



・ドライバーと歩行者の視野を確保する。ただし、大学の賄える予算が限られており、バイクが学内へ無断進入してくることがネックとなる

## 6, 学長との意見交換

・2010年8月31日に電気通信大学の梶谷誠学長と面談し、以下のご意見(抜粋)をいただいた

1. 信号機設置などの解決策はセットにして  
長期的に通じるプランにすべき
2. LED 照明や反射板を設置し、  
より横断歩道を目立たせてはどうか
3. 中門周辺の巨木は大学の財産であり、  
伐採せずに残しておきたい
4. 電気通信大学の予算は切り詰められている  
が、資金面では可能な限り協力する

## 7, 中門整備:現時点の総括

1. 警視庁交通管制課信号機計画係及び交通規制課  
からの平成 23 年度の信号機設置、横断歩道修正、  
自転車横断帯の設置の判断を仰ぐ
2. その後、路面のカラー化を調布市と東京都へ申請
3. 信号機に関しては時間帯ごとに異なる通行量に  
対応可能な管制もしくは機種が必要と思われる
4. 障害物を除去する際にはバイク進入対策として  
西地区側の中門に階段やスロープを設置
5. ドライバーに横断歩道への注意を喚起させ、  
大学の PR としても期待できる LED 電光掲示板の  
設置を検討中



### 中門の整備担当班:メンバー

くらうち ひさかず  
倉内 久和

たかいずみ しゅんすけ  
高泉 俊輔

たかいし まなぶ  
高石 学